

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年2月27日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4697200014
法人名	株式会社 EGUCHI
事業所名	グループホーム あじさい
所在地	鹿児島県肝属郡東串良町池之原1998番地1 (電話) 0994-63-5919
自己評価作成日	平成28年12月27日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域の催しものや、行事に積極的に参加している。個々の利用者様が安心して生活が出来るように、月1回の勉強会やミーティングで職員の意見交換やスキルアップを目指している。利用者様の高齢化に伴い、散歩が難しくなっているがホール内で出来る下肢筋力低下防止の機能訓練、手指訓練のおりがみ作成、家事のお手伝いなど、個々にあった機能訓練をおこない、現状維持に努めています。週3回の入浴を楽しみにされているので、体調不良以外はゆっくりと入浴できるように努めています。利用者様の誕生日会では、利用者様が食べたい物、好きな料理をメインにし、ケーキを作成し職員共々でお祝いします。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年2月15日

- ・当ホームは、敷地内に同系列の有料老人ホームやデイサービス等があり、合同の行事や避難訓練や職員の応援体制等、日頃から協力体制を構築している。
- ・自治会に加入し町の文化祭・体育祭に参加している。法人主催の秋祭りには近隣の住民が集い、日常的に交流している。
- ・かかりつけ医への受診は、ホーム職員が同行支援しており医師との協力関係を築いている。また、緊急時等は協力医療機関との24時間医療連携体制が整っており、医療面における家族の安心となっている。
- ・利用者の高齢化・重度化が進んでいることから、敷地内の厨房に調理を委託して、利用者への手厚いケアに取り組んでいる。外出の機会が少なくなりがちな利用者にも温泉や外食での外出を年に数回実施している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	職員で話し合い決めた理念を実践出来るように、ミーティング等でケアについて職員同士で意見交換を行い理念の実践に取り組んでいる。	理念は職員で話し合い2回程見直している。玄関やフロアに掲示し、ミーティングの時、話し合い振り返りをしている。理念は年に1回、具体的内容を検討して実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事には、積極的に参加をしている。利用者様の半数は今までのかかりつけの病院を利用し地域住民との交流をしている。	自治会に加入し町の文化祭・体育祭に参加している。法人主催の秋祭りには近隣の住民が参加して、交流を図っている。ボランティアの訪問を受けている。買い物や医療機関受診の時・畑作業の時等、あいさつや触れ合いがある。地域から野菜の差し入れもあり、日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	災害時等の避難場所として、活用していただけるように、運営推進会で話し合いを行っている。救急処置法を職員全体で勉強し地域の方々に貢献出来るように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回の運営推進会議で、意見交換をし、検討項目は改善出来るように職員全体で話し合い努めている。</p>	<p>運営推進会議は定期的開催している。利用者や事業所の状況・行事報告・研修報告・外部評価等を報告し、意見交換を行っている。行政から感染症の伝達事項や事故報告の指導助言があり、サービス向上に活かしている。事業所を災害時の避難場所としての提供等、話し合っ受け入れている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>経営者、管理者、ケアマネは市町村に出向き、色々な意見交換や相談など、その都度行っている。</p>	<p>町担当者とは電話や手紙で連携しているが、状況により窓口に出向き相談やアドバイスを受けている。運営推進会議でも情報や助言があり協力関係を築いている。グループホーム連絡協議会でも交流を図っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束委員会を設置しており、1ヶ月に1回意見交換を行っている。勉強会にも積極的に参加をしている。</p>	<p>マニュアルを作成している。施設全体の身体拘束委員会があり、研修会に参加し伝達の勉強会を行い、身体拘束禁止の対象になる行為を理解し共有している。言葉の拘束にも配慮している。昼間は玄関の施錠はせずに外出傾向の利用者には付き添う等、職員の日配りで自由な生活を支援し、身体を拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>職員一同、虐待防止に繋がらないように話し方から、ケアに至るまで注意をし、ミーティング等で意見交換に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>新入職員に対しては、外部研修の機会を設け必要な時に支援を行えるように努めている。現在の所対象者はいない。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時は、十分な時間をかけて分かりやすく説明を行っている。説明の際は一つ一つの項目を説明し、解らなかつたり理解出来てない所はないか確認して、詳しく説明していくように心掛けている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>意見箱を設置し、ご家族からの苦情や要望の意見を聞けるようにしており、利用者からの意見、苦情については、その都度記録や話し合いを行い、運営推進会やミーティング等で報告を行っている。</p>	<p>利用者には日常のケアの中で言動や表情から推測し、要望等を聞いて対応している。家族には運営推進会議や家族会で意見を聞いたり、面会時に職員から声かけして近況報告を行うと共に、要望等を聞いている。意見や要望は、記録してミーティングで話し合い、その都度家族に電話連絡して現状報告している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月1回のミーティングを行い職員からの意見や提案を聞く機会を設けている。又、日頃から職員とのコミュニケーションを図るように、努めている。</p>	<p>毎月の勉強会を兼ねたミーティングで意見を聞く機会を設けており、日頃から気軽に相談できるよう雰囲気作りに努め、個別相談は管理者が受けている。ケアに関する事が多い。代表者も日頃から職員とコミュニケーションを図っており、物品の購入等、運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>ミーティング、勉強会、各委員会を定期的に行い介護の質の向上に努めている。又、研修等に参加し、個々の職員に応じた学びの機会を設けている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年間研修計画を立て、職員の経験や役割に応じた研修受講者を決めている。外部研修に参加した職員は、研修報告書を提出し共有している。事業所内で委員会活動を行っており、必要に応じて外部講師を呼んで知識・技術の向上に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地区のグループホーム協議会に入会しており、研修会や勉強会を通して同業者との交流をもちサービスの質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービスの利用について相談があった場合は、可能な限り事前面談として本人にお会いし、生活状況、身体状況、本人の思い等に向き合い、受け止めることが出来るように努める。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族とのコミュニケーションを図り、不安な事、要望等をゆっくり聞くように努める。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時本人や、家族の思いをしっかりと聞き、必要なサービスを提供出来るように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	洗濯等、家事全般にわたって出来る事を一緒に行えるように努めている。年配者の知恵や昔の習慣等、分からない事は尋ねて共に支え合う関係を築いていくように努力している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員は、家族の思いに寄り添いながら、日々の暮らしの出来事や気づきの情報共鳴に努め、本人と一緒に支えるために家族と同じような思いで支援している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人が今まで、大切にしてきた場所や馴染みの人達を把握し、関係性が薄れないように、出向いたり、来ていただけるようにしている。	家族や知人の面会はお茶を出してゆっくりしていただいている。受診の際に買い物や自宅周辺のドライブ・墓参りを行う等、これまでの生活や関係を継続できるよう支援している。家族との外出で馴染みの店に寄り添っている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	同じ町内でも、初対面の方々もおられているので、共通の趣味や話題を提供し、利用者同士関わりあえるように、職員が間に入り配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要であれば、本人や家族の話聞き、面談を行ったり、相談や支援に努めていく。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の言動や表情を観察し、思いや意向の把握に努めている。又ミーティング等で話し合い全職員が把握出来るようにしている。	入居時のアセスメントを参考に、会話・表情・仕草等から本人の思いを把握している。得られた情報は会議等で職員が共有している。困難な利用者には職員間で話し合い、家族からの情報を得て、本人のやりたいこと等を支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用開始の際、面談等により本人、家族、関係者からの情報収集に努め、これまでの生活歴や価値観の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	定期的なモニタリング等により、利用者一人ひとりの現状把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族の意向や要望を聴取した上で、毎月のカンファレンスでの意見や担当職員のモニタリング、医師の意見やアドバイス等を反映した介護計画を作成している。	本人や家族の意見や意向を事前に把握して、主治医の意見及びカンファレンスでの職員の意見を参考に担当者会議を開き介護計画を作成している。3ヶ月毎のモニタリング、6ヶ月毎及び状況変化時の見直しで現状に即した計画となるように取り組んでいる。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別記録にて、身体状況や日々の暮らしの様子、本人の言葉やエピソードを記録しており、いつでも職員が確認出来るようにしている。また、朝夕の申し送りや業務開始前の日誌の確認を義務づけている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族の要望に応じて、通院や外出の支援を行うなど柔軟に対応している。利用者が入院された場合は、医療機関の関係者と話し合いながら、早期退院に向けた働きかけを行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>本人の意見や必要性に応じて、民生委員やボランティアとの交流協働を行うように努めている。消防、図書館、町内会との連携もとりながら、交流の機会を継続して持てるようにしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人や家族が希望するかかりつけ医を受診出来るようにしている。受診の際は、バイタルチェック表や個別記録を持参し適切な医療が受けられるように支援している。</p>	<p>本人・家族の希望するかかりつけ医の受診を職員が同行して支援している。往診や協力医の24時間医療連携体制が整っている。訪問看護師の健康管理も実施され、適切な医療が受けられるように支援し、受診結果は家族に報告している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者の体調不良時や急変時等は、常に看護職員と連携を取り、適切な対応が出来るように努めている。週に1回訪問看護師が来所された日に身体状況の報告をし、適切な看護が受けられるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は出来る限り病院に見舞いを行い、環境の変化に伴うダメージが少しでも軽減できるように利用者との関係の継続に努めている。また医師や家族とも連絡を取り合い、利用者の早期退院と適切な看護が受けられるように情報交換を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	出来るだけ、早い時期から、本人や家族、かかりつけ医と話し合いを行い、その時々本人や家族の意向を確認しながら、対応方針の共有を図っている。また、事業所が対応し得る最大のケアについての説明も行っている。	契約時に指針を説明し同意書を得ている。状況変化時にはその都度、家族へ主治医から説明し、家族の意向を確認している。事業所でできるケアを十分に説明し、方針の共有を図っている。職員の看取りに関する勉強会も実施している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時対応マニュアルにてミーティング時に勉強会を行っている。年1回の救急研修にも参加し、急変時の対応を迅速に行えるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署の協力のもと、避難訓練や救命訓練をおこなっている。運営推進会議において近隣住民の協力を呼びかけたり、逆に事業所を災害時の避難場所とすることを提案するなど、地域との協力関係を築けるように努めている。</p>	<p>年2回消防署立ち合いの下、避難訓練や救命訓練を実施している。スプリンクラーや緊急通報装置も設置している。同一施設内では協力体制ができている。地域に協力を呼びかけており、近隣住民の避難場所の提供も提案している。災害時は米や水の備蓄を同施設内で一括して用意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>言葉使いや声掛けに際して、利用者の尊厳重視に努め、職員の意識向上や具体的な対応方法については、ミーティング等において勉強会を行っている。また、委員会においても定期的に話し合いを行い、一人ひとりの人格の尊重の重要性を学んでいる。</p>	<p>マニュアルをもとに人格やプライバシーを損ねないように勉強会を行っている。名前の呼び方はさん付けで呼び、トイレ誘導時・失禁時のさり気ない声かけ等に、特に配慮した対応をしている。言葉使いや排泄・入浴介助・入室時の気配りをしている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>本人の希望を聞き取り、優先して行えるように努めている。また、支援のなかで自己決定できるような場面をたくさん作れるよう声掛けを行っている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>基本的な一日の流れはあるが、時間を区切った過ごし方はしていない。一人ひとりの体調や状況に配慮し、できるだけ個別性のある支援を行えるようにしている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>身だしなみやおしゃれについては、できる限り本人の意向で決めていただくように支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の時間は、利用者が楽しんでいただけるような雰囲気作りを心掛けている。また、定期的な外食も計画し、利用者が楽しんでいただけるよう努めている。	調理は別業者に委託している。利用者は準備や食事・盆拭き・テーブル拭き・片付け等、職員と一緒にしている。行事食はホームで調理し、月1回の外食等の楽しみにも工夫して取り組んでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分の摂取量を一日を通して記録し、状況の把握に努めて、必要に応じて栄養補助食品やゼリーの摂取を支援している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨きの声掛けを行い利用者に応じて見守りや介助を行っている。義歯の利用者には、毎晩義歯洗浄剤の使用を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	トイレ誘導を行い、できるだけトイレでの排泄に向けた支援を行っている。またそれぞれの利用者に応じた排泄チェック表を利用し、心身の状態と排泄の関連性も考慮している。	個々の排泄パターンに応じた声かけや誘導で日中はトイレでの排泄を支援している。夜間は良眠を優先し、身体状況等に応じてポータブルトイレやオムツ等を使用する利用者もいる。食事やおやつにも気配りして、排便や排泄の自立に向けた支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	かかりつけ医に相談を行い、それぞれの利用者の状態に応じた服薬の介助を行っている。毎食時やおやつ時に便通に良い、食材を取り入れてもらえるように栄養管理者と相談し提供していただいている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本的には週3回の入浴介助を行っているが、希望時や清潔保持の必要がある場合は、いつでもシャワー浴が行えるようにしている。	週に3回、午前中を基本にしているが、希望や保清の必要時はシャワー浴等を行っており、柔軟な対応をしている。年に数回、温泉に行き貸切で使用して楽しんでいる。入浴を拒む利用者には、声かけの仕方やタイミングを見て、工夫しながら支援している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	なるべく日中の活動を促し、生活リズムを整えるよう努めている。また、一人ひとりの体調などを考慮し、ゆっくり休息を取り入れるよう配慮している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬説明書のファイルにて、全職員が服薬の内容を把握できるようにしている。服薬時は、誤薬がないよう、個別の薬ケースを用意し薬の管理を行っている。また、配薬後は服用までの確認を行い、チェック表にて記録を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	洗濯物の片付け、お盆拭きなど一人ひとりの役割を決めて、生活にメリハリを持たしている。また、外食やドライブ、誕生日会等の楽しみごとや気分転換の支援も多く行えるように計画している。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	本人の体調や希望に応じて、散歩や買い物に行くように努めている。	日常的に、車椅子を押して敷地内を散歩している。行事で花見や温泉・外食に出かけたりしている。その日の状況や希望で、受診時にドライブをして、できるだけ出かけられるように支援している。家族の帰省時に外食や外出する利用者もいる。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	自分の財布からお金を出すことで、社会性の維持に繋げており、一人ひとりの希望や力に応じて支援を行っている。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	状況に応じて、本人の希望や必要がある場合は、いつでも電話ができるように声掛けや援助を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用スペースは、仕切りがなく家庭的な雰囲気でも過ごせるように配慮している。玄関前には、季節感を味わえるように四季折々の花を植えるように心掛けている。	天窓からの採光で明るいホールは、空気清浄機等で室内環境が整っている。ホールを中心に居間や台所・和室が配置され、台所から入居者の動きが観察できる。あちこちにソファが置かれ好きな場所でくつろげる様に工夫され、玄関前には季節の花が植えてあり、壁に利用者の写真や作品が掲示されて居心地よい空間である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファや和室等を設置し、その時々のお気持ちに応じて好きな場所で過ごせるように配慮している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	それぞれの利用者の好みや馴染みの物をご家族に用意していただいたり、生活スタイルや本人の要望に応じて必要な物を職員が用意する等して、本人が心地よく過ごせるように努めている。	居室は電動ベッドと洗面台・エアコンが備えられ、利用者の好みや必要に応じてタンスやぬいぐるみ・暦・写真・小物等が置かれている。窓は掃出し窓で日当たりもよく避難路として利用でき、居心地よく過ごせるよう工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室、玄関、ホールやトイレ、浴室等の住環境においては、利用者が安全で自立した生活を送れるように環境作りを行っている。また、利用者の状態に応じた環境整備の見直しを行っている。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない